

令和6年度事業計画に基づく取組実績

法人整理番号	18	名称	(公財)埼玉県公園緑地協会
--------	----	----	---------------

1 経常利益の対前年度増の目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

目標の概要		R2	R3	R4	R5	R6		R7	
		実績	実績	実績	実績	計画	実績	前年度増減額	計画
①利用者満足度の向上と多彩な公益目的事業の展開	経常収益	3,797,922	4,101,216	4,433,308	4,688,394	4,964,757	4,894,614	206,220	5,328,254
②収益事業の充実・拡大とコスト縮減	経常費用	3,705,277	4,042,645	4,446,839	4,646,848	5,026,875	4,843,222	196,374	5,337,345
	経常利益	92,645	58,571	-13,531	41,546	-62,118	51,392	9,846	-9,091

(千円)

取組項目	具体的な取組内容	収支			計画との乖離	税抜
		計画	実績	計画との乖離		
利用者満足度の向上	こども動物自然公園 飼育スタッフとゴルフカートで園内を巡るプライベートガイド、「ズーホッパーガイド」の開始	収益	0	227	227	
		費用	0	0	0	
		利益	0	227	227	
取組項目	具体的な取組内容	収支			計画との乖離	税抜
収益事業の充実	しらこばと公園、川越公園、加須はなさき公園 貸用具の充実(リゾートエリア拡充等)	計画	実績	計画との乖離		
		収益	31,500	45,079	13,579	
		費用	10,362	6,081	-4,281	
		利益	21,138	38,998	17,860	
取組項目	具体的な取組内容	収支			計画との乖離	税抜
収益事業の充実	羽生水郷公園 オリジナル商品の販売や、ガラルファの直営化等により直営売店の収益拡大を図る	計画	実績	計画との乖離		
		収益	39,706	53,476	13,770	
		費用	23,866	33,295	9,429	
		利益	15,840	20,181	4,341	

法人による自己評価

- ・経常利益を増やすため各取組を行い、前年度と比べ増加となった。
各取組項目の収支とも計画を上回った実績を上げている。
特に、しらこばと公園、川越公園、加須はなさき公園の3水上公園では夏季プール期間中の貸用具の充実(リゾートエリア拡充など)により大幅な増収となった。
また、羽生水郷公園(さいたま水族館)の直営売店はオリジナルグッズの販売、ガラルファの直営化により増収となった。

2 DXの推進等による生産性向上や経営効率化、サービス向上の目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

目標の概要

- 支払い手続きにキャッシュレス決済を進め、デジタル技術を活用した県民の利便性の向上に取り組む

目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

取組項目	具体的取組内容	取組による効果	
		目標	実績
利用者満足度の向上	キャッシュレス決済導入の促進による利便性の向上	協会全体の達成率64%以上	協会全体の達成率74%
取組項目	具体的取組内容	取組による効果	実績
利用者満足度の向上	久喜菖蒲公園、加須はなさき公園、羽生水郷公園(さいたま水族館)の3公園合同によるデジタルスタンプラリーを実施。各公園に設置したQRコードを読み取り、3つのスタンプを集めるとグッズと交換ができる。	令和5年度に実施した同イベント(紙によるスタンプラリー)が200人参加であった。デジタル移行で参加者増を見込み、300人とする。	11月16日～1月5日の期間で合計438人の参加があった。
取組項目	具体的取組内容	取組による効果	実績
県民の利便性向上	「バーチャル! さいたまの公園」を開設し、バーチャル空間内で埼玉県内の公園の特徴や魅力をオンラインで楽しめるようにする。	令和7年度からの開設に向け、発注先の業者と連携し各公園のデジタルコンテンツ作成を進める。	既に令和3年4月から開設しているさいたま水族館の他、今回新たに7つの公園のコンテンツが完成した。令和7年5月に公開した。

法人による自己評価

- デジタル技術を活用し、利用者満足度・利便性の向上に取り組んでいる。
定めた目標は、いずれの取組とも達成となった。
特にキャッシュレス決済導入の達成率は目標値を10%上回り、令和7年度の中期経営計画の目標値(77%)まであと3%となった。引き続き目標達成に向け導入を進めていきたい。
また、令和7年5月に「バーチャル! さいたまの公園」を開設したので、周知を図っていきたい。